

令和6年度 e・アンケートモニター  
 第2回アンケートNo.1 調査結果  
 テーマ 「プラスチックごみ問題について」

I 調査の概要

1 調査の目的

プラスチックは軽く丈夫でさびにくい等の利点から、レジ袋やペットボトル、容器包装のほか、文具や家電製品など、私たちの身近なあらゆる場所で使われています。

一方で、近年、海に流出してしまったプラスチックごみを海鳥や魚が誤って食べてしまったり、海岸に漂着したプラスチックごみによる景観への影響など、様々な問題が懸念されています。

県では、令和3年3月に策定した「山口県循環型社会形成推進基本計画（第4次計画）」や「やまぐち海洋ごみアクションプラン(山口県海岸漂着物等対策推進地域計画)」に基づき、プラスチックごみの削減に向けて、県民一人ひとりによる取組を促進することとしています。

今後、県において、プラスチックごみの削減を推進していくための調査です。

2 調査実施期間

令和6年11月28日(木)～12月20日(金)

3 調査対象

令和6年度e・アンケートモニター 111人

4 回答状況

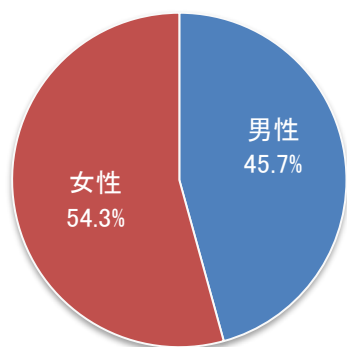
回答者 70人(回答率 63.1%)

5 調査担当課

山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課

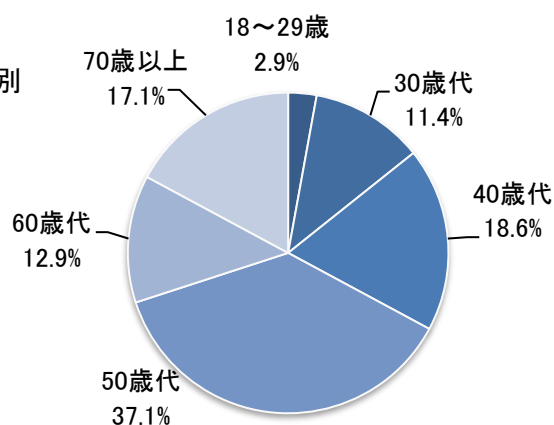
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	32	45.7
女性	38	54.3
計	70	100.0

■年代別

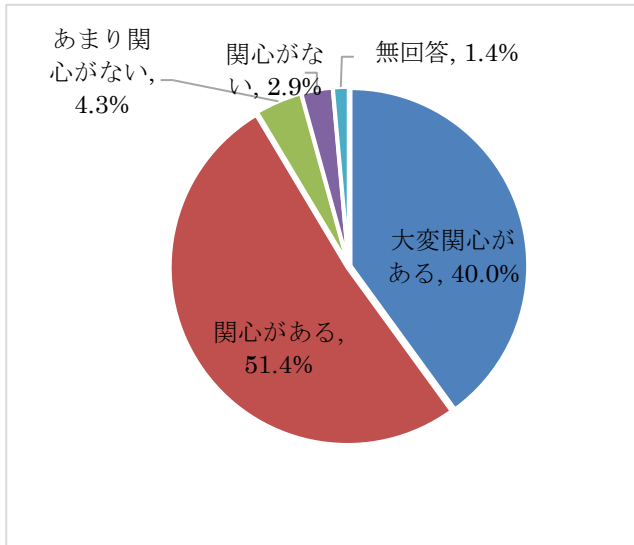


区分	人数	%
18～29歳	2	2.9
30歳代	8	11.4
40歳代	13	18.6
50歳代	26	37.1
60歳代	9	12.9
70歳以上	12	17.1
計	70	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

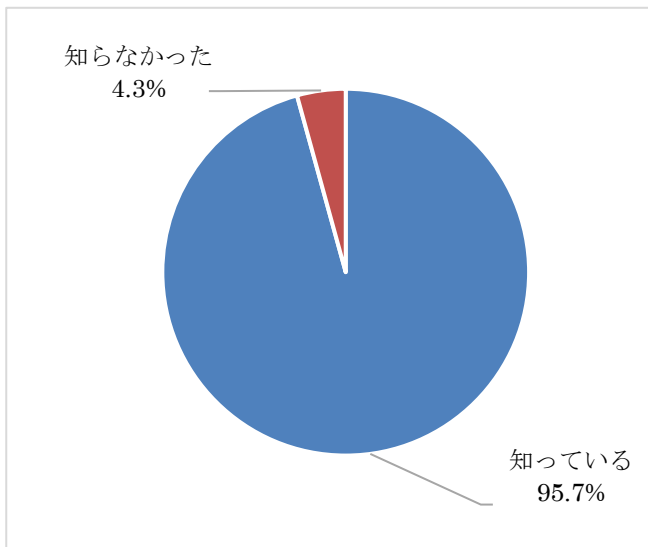
Q1 あなたは、プラスチックごみ問題に関心をお持ちですか。(1つのみ)



(n = 70)

選択肢	人数	%
1.大変関心がある	28	40.0
2.関心がある	36	51.4
3.あまり関心がない	3	4.3
4.関心がない	2	2.9
5.無回答	1	1.4
計	70	100.0

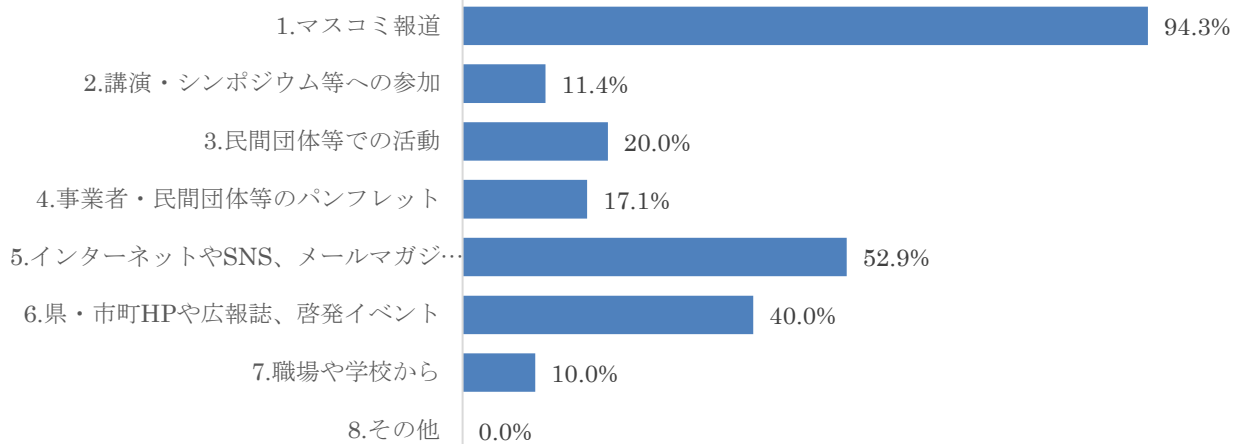
Q2 ああなたは、街中に落ちているプラスチックごみが、河川等を通じて海に流入し、海洋プラスチックごみの要因の一つとなっていることはご存じですか。(1つのみ)



(n = 70)

選択肢	人数	%
知っている	67	95.7
知らなかった	3	4.3
計	70	100.0

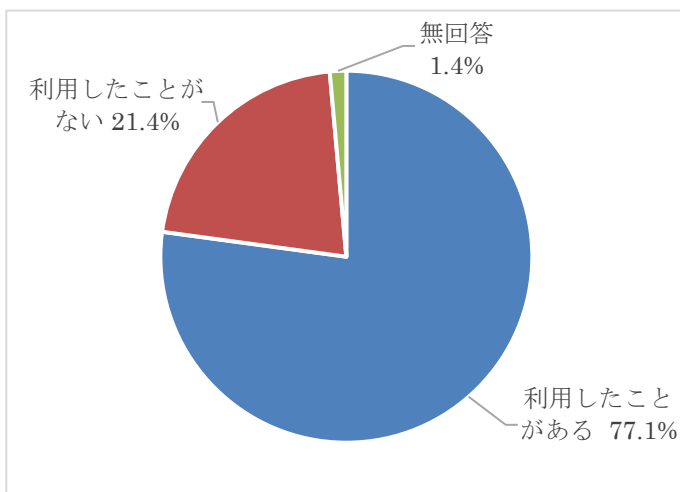
**Q3** あなたは、プラスチックごみ問題など環境に関する情報を何から得ていますか。  
(いくつでも)



(n = 70)

選択肢	人数	%
1. マスコミ報道(新聞・テレビ・ラジオ・雑誌)	66	94.3
2. 講演会・シンポジウム等への参加	8	11.4
3. 民間団体等での活動	14	20.0
4. 事業者・民間団体等のパンフレット	12	17.1
5. インターネットやSNS、メールマガジン等	37	52.9
6. 県・市町のホームページや広報誌、啓発イベント	28	40.0
7. 職場や学校から	7	10.0
8. その他	0	0.0

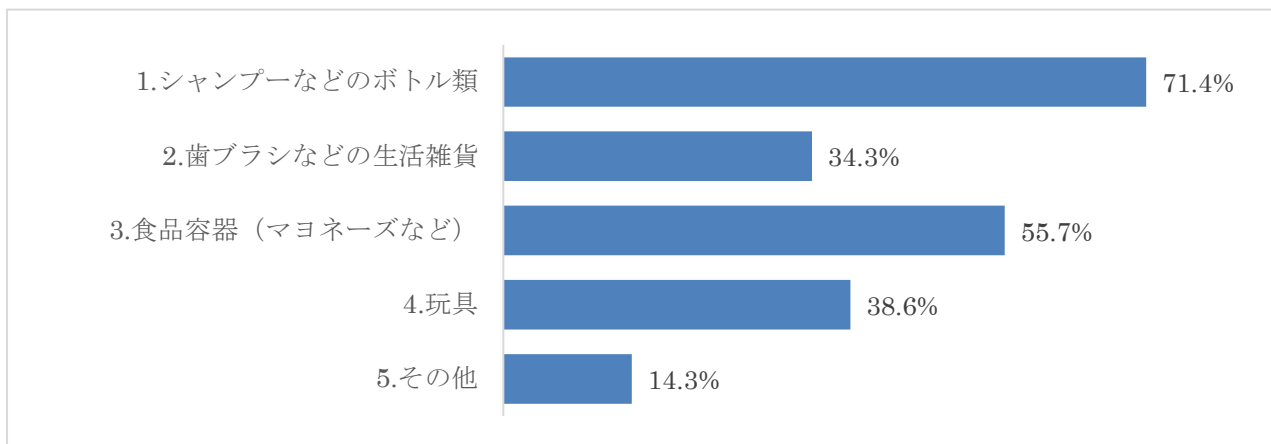
**Q4** あなたは、店頭回収を利用したことがありますか。(1つのみ)



(n = 70)

選択肢	人数	%
利用したことがある	54	77.1
利用したことがない	15	21.4
無回答	1	1.4
計	70	99.9

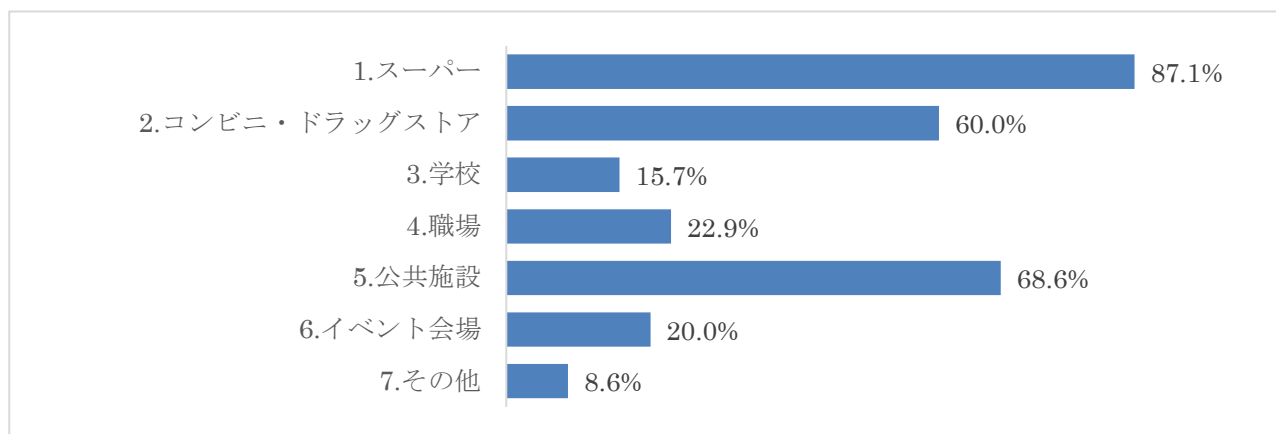
**Q5** 店頭回収した方がよいプラスチック製品（洗剤などのボトル容器、歯ブラシなどの生活雑貨など）があれば教えてください。（いくつでも）



(n = 70)

選択肢	人数	%
1. シャンプーなどのボトル類	50	71.4
2. 歯ブラシなどの生活雑貨	24	34.3
3. 食品容器(マヨネーズなど)	39	55.7
4. 玩具	27	38.6
5. その他	10	14.3

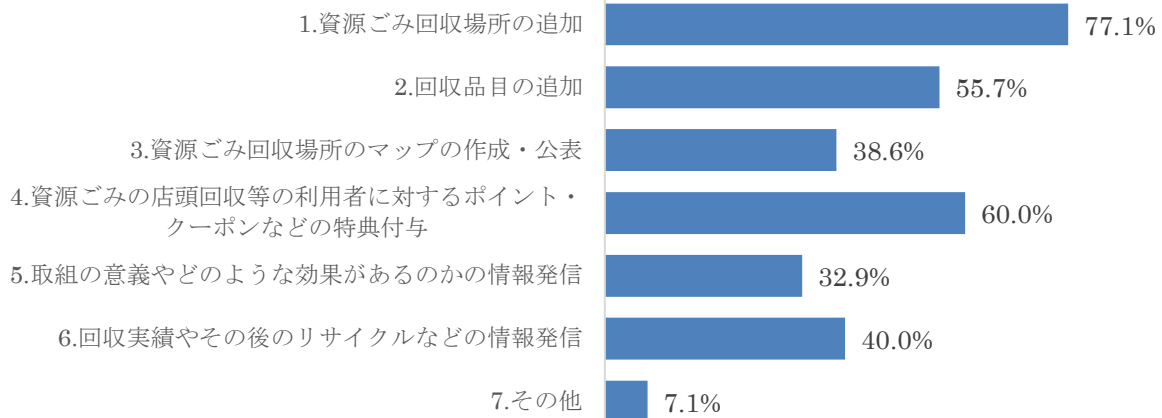
**Q6** どのような場所であれば店頭回収等を利用したいと思いますか。（いくつでも）



(n = 70)

選択肢	人数	%
1. スーパー	61	87.1
2. コンビニ・ドラッグストア	42	60.0
3. 学校	11	15.7
4. 職場	16	22.9
5. 公共施設	48	68.6
6. イベント会場	14	20.0
7. その他	6	8.6

**Q7** 店頭回収等を進めるためにはどのような取組が有効だと思いますか。(いくつでも)



(n = 70)

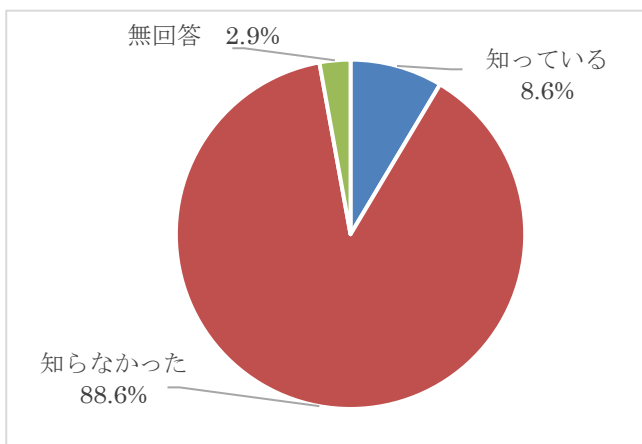
選択肢	人数	%
1. 資源ごみ回収場所の追加	61	87.1
2. 回収品目の追加	42	60.0
3. 資源ごみ回収場所のマップの作成・公表	11	15.7
4. 資源ごみの店頭回収等の利用者に対するポイント・クーポンなどの特典付与	16	22.9
5. 取組の意義やどのような効果があるのかの情報発信	48	12.9
6. 回収実績やその後のリサイクルなどの情報発信	14	20.0
7. その他	6	8.6

**【ワンウェイプラスチック等の削減に向けた取組について】**

**Q8** プラスチックごみ削減に取り組む山口県内の事業所を「やまぐちプラごみ削減取組店」として登録し、事業所の取組内容等をHPやSNSで情報発信しています。

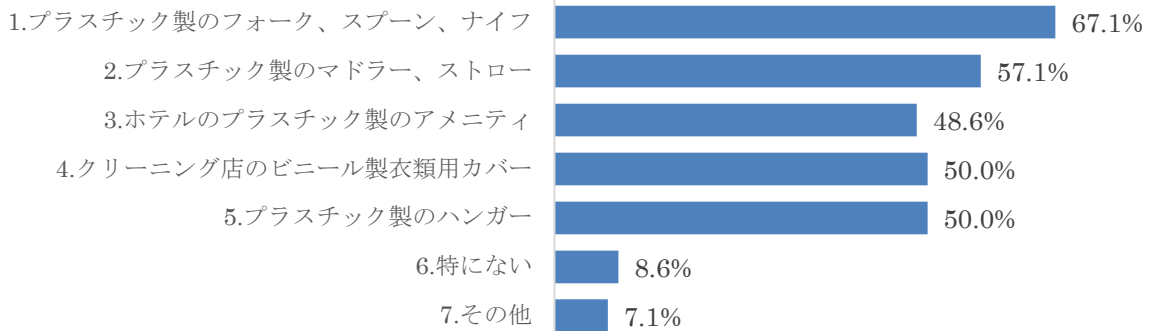
あなたは、この取組を知っていましたか(1つのみ)

(n = 70)



選択肢	人数	%
知っている	6	8.6
知らなかった	62	88.6
無回答	2	2.9
計	70	100.0

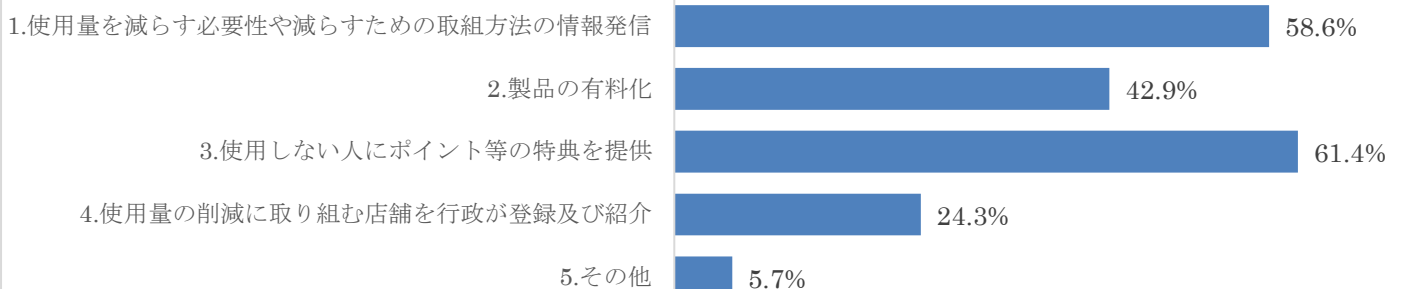
**Q9** 令和4年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」では、スーパーなどの小売店や飲食店で提供されるスプーンやストロー、クリーニング店で提供される衣類用カバー等の使い捨てプラスチック製品（ワンウェイプラスチック）の削減が求められています。あなたが、使ったり、貰ったりする中で、減らせると思うものはありますか。（いくつでも）



選択肢	人数	%
1. プラスチック製のフォーク、スプーン、ナイフ	47	67.1
2. プラスチック製のマドラー、ストロー	40	57.1
3. ホテルのプラスチック製の(歯ブラシ、くし等)アメニティ	34	48.6
4. クリーニング店のビニール製衣類用カバー	35	50.0
5. プラスチック製のハンガー	35	50.0
6. 特にない	6	8.6
7. その他	5	7.1

(n = 70)

**Q10** Q9で上げたプラスチック製品（ワンウェイプラスチック）の使用量を減らすためには、どのような取組が有効だと考えますか。（いくつでも）



(n = 70)

選択肢	人数	%
1. 使用量を減らす必要性や減らすための取組方法の情報発信	41	58.6
2. 製品の有料化	30	42.9
3. 使用しない人にポイント等の特典を提供	43	61.4
4. 使用量の削減に取り組む店舗を行政が登録及び紹介	17	24.3
5. その他	4	5.7